

E V E N T R E P O R T

大きさが見て取れる結果であった。今回のアンケート調査では、分子研及び総研大について、知っていたとの答えが60%を超えていた。総研大の知名度が向上したとも考えられるが、ホームページから情報を得たとの回答が倍増していることと、大学共同利用機関についても知っていたとの答えが60%を超えていることを考慮すれば、

今年4月からリニューアルされたホームページの効果の現れかもしれない。

最後に、本事業にご協力いただきました全ての先生方、関係者の皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



受賞者の声

橋谷 俊 (物理科学研究科 構造分子科学専攻 5年一貫制博士課程3年)
 平成25年度日本化学会東海支部長賞およびAsian CORE Winter School on Frontiers of Molecular, Photo-, and Material Sciences Outstanding Oral Award

右が筆者

2014年1月29日に修士同等論文審査発表会があり、「アキラルな2次元金ナノ構造体における局所光学活性に関する研究」と題した研究発表について、平成25年度日本化学会東海支部長賞を頂きました。平成18年度より設けられた本賞は、化学を学ぶ大学院生等の勉学奨励の一助として、修士(相当)課程の修了時に成績優秀な学生を顕彰するものです。発表会では、分子研の先生方に研究成果を聞いて頂けただけでなく鋭い質問も頂き、大変勉強になりました。

また、2014年2月24日~26日の期間に国立台湾大学で開催されたAsian CORE Winter Schoolに参加し、学生からの発表を中心としたYoung Generation Oralセッションにおいて口頭発表を行いました。その結果、Outstanding Oral Awardを受賞致しました (<http://www.iams.sinica.edu.tw/asiancore2014/award>)。本セッションでは、アジア各国の同世代の研究者の発表を間近で聞くことができ、非常に刺激的な体験でした。

今回このような栄誉ある賞を頂き大



変嬉しく思っております。本受賞を励みとして、博士過程の後半も研究に全力で取り組みたいと思います。最後に、今回の受賞にあたり、研究をご指導頂きました岡本裕巳教授と成島哲也助教をはじめとする研究室の皆様深く感謝致します。

Setsiri Haesuwannakij (物理科学研究科 機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程5年)
 日本化学会第94回春季年会学生講演賞

At 27th to 30th March, 2014, I received a great opportunity to attend the 94th Annual Meeting of the Chemical Society of Japan (CSJ), Nagoya University. In the meeting of union of chemistry-related societies in Japan, I had performed 25-minute-

oral-presentation under the title of “Morphology Effect Overtakes the Size Effect in Catalytic Activity of Quasi-Homogeneous Nanogold Toward the Aerobic Oxidation”, in detailed investigation specific to the matrix effect on the catalytic activity



受賞者の声

of nanogold. After the presentation, I obtained several suggestions about my research work. I will use these precious comments to improve my work for being a success.

Around 2 months after the meeting, I received the excited news from the CSJ that I won the student presentation

award. This award will encourage me to do my research work.

This presentation would not have been possible without the assistance of many individuals whose contributions are gratefully acknowledged. I would like to express my gratitude to my supervisor, Prof. Hidehiro Sakurai for

kind support and useful suggestions through the research.

Finally, for these 3 years in the lab, I would like to thank my colleagues, who have supported me in the research activities.

平成26年度3月総合研究大学院大学修了学生及び学位論文名

専攻	氏名	博士論文名	付記する専攻分野	授与年月日
構造分子科学	江口 敬太郎	バナジウムフタロシアニン単層膜・多層膜の電子状態と磁気特性	理 学	H26. 3.20
機能分子科学	齋藤 雅明	Multireference configuration interaction theory using density matrix renormalization group reference function (アブ・イニシオ密度行列繰り込み群に基づく多参照配置間相互作用法)	理 学	H26. 3.20
	張 英 (Zhang, Ying)	Paramagnetism-assisted NMR analyses of conformational dynamics of ganglioside glycans (常磁性 NMR 法によるガングリオシド糖鎖の立体構造ダイナミクスの解析)	理 学	H26. 3.20
	望月 建爾	A Theoretical Study on the Molecular Mechanism of Ice Melting and the Local Structure of Aqueous Solutions (氷の融解メカニズムと水溶液の分子構造に関する理論研究)	理 学	H26. 3.20

総合研究大学院大学平成26年度(4月入学) 新入生紹介

専攻	氏名	所属	研究テーマ	学年
構造分子科学	石川 裕騎	協奏分子システム研究センター	有機金属多核錯体の合成と反応性の解明	3
	JIN ENQUAN	物質分子科学研究領域	Synthesis solvable COF materials and COF materials used in OFET.	3
	伊豆 仁	生命・錯体分子科学研究領域	ヘテロ5核クラスターの合成と反応性	1
	榎本 孝文	生命・錯体分子科学研究領域	π 共役金属錯体を利用した光駆動反応の探索	1
	寺本 昌弘	協奏分子システム研究センター	不飽和炭化水素配位子を持つ金属クラスターの合成	1
	山下 実都喜	協奏分子システム研究センター	後周期遷移金属を用いた有機金属錯体の合成	1
機能分子科学	大橋 知佳	物質分子科学研究領域	有機薄膜太陽電池の基礎研究と高効率化	3
	高品 直人	協奏分子システム研究センター	お椀型 π 共役系化合物バッキーボウルの合成と物性	1